

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和02年12月18日

計画の名称	川西市の下水道における快適な暮らしの実現													
計画の期間	令和03年度 ~ 令和07年度 (5年間)								重点配分対象の該当					
交付対象	川西市													
計画の目標	下水道未普及地域の解消及び浸水対策による水害に強いまちづくりにより、市民の快適で安心安全な生活の確保を図る。													
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)		49	A	49	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R3当初)	中間目標値 (R5末)	最終目標値 (R7末)
1	下水道未普及人口の低減 未供用開始人口を令和3年度当初の327人から最終目標年度には239人まで減少させる。	327人	282人	239人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	川西市	直接	-	管渠(汚水)	新設	未普及解消下水道事業(管渠)	整備面積 = 20.4ha	川西市						49	-	
											小計						49		
											合計						49		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

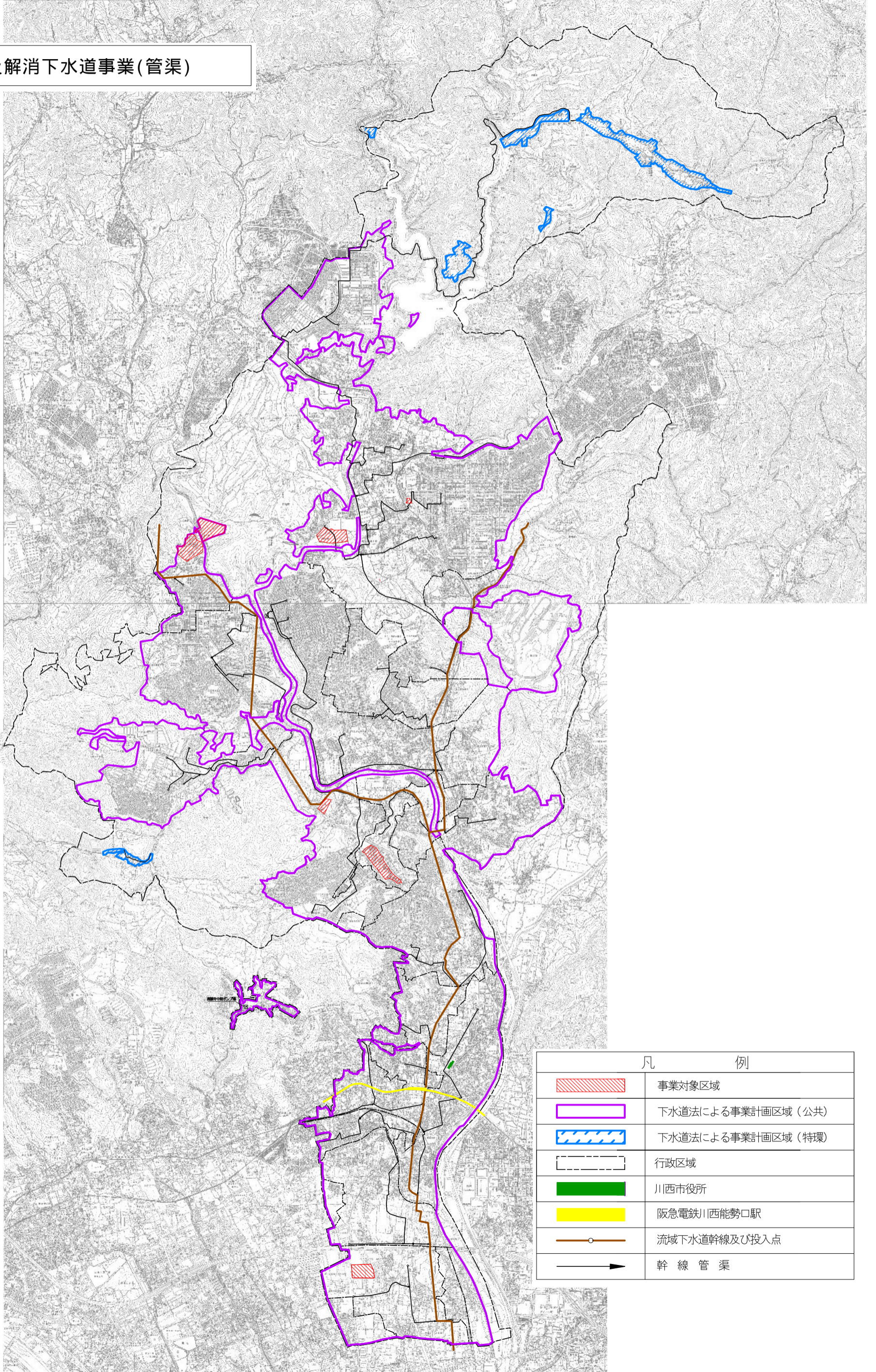
	R03	R04			
配分額 (a)	9	6			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	9	6			
前年度からの繰越額 (d)	8	0			
支払済額 (e)	17	6			
翌年度繰越額 (f)	0	0			
うち未契約繰越額(g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					



[参考図面] 水の安全・安心基盤整備 (汚水)

計画の名称	1 川西市の下水道における快適な暮らしの実現		
計画の期間	令和3年度 ~ 令和7年度(5年間)	交付対象	川西市

A7-1 未普及解消下水道事業(管渠)



凡 例	
	事業対象区域
	下水道法による事業計画区域(公共)
	下水道法による事業計画区域(特環)
	行政区域
	川西市役所
	阪急電鉄川西能勢口駅
	流域下水道幹線及び投入点
	幹線管渠



# 事前評価チェックシート

計画の名称： 川西市の下水道における快適な暮らしの実現

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合	
I. 目標の妥当性 1) 上位計画（総合計画、生活排水処理計画、都市計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 2) 下水道の諸計画との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域計画の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 2) 必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い。	○
I. 目標の妥当性 目標と定量的指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性 1) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
I. 目標の妥当性 目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性 1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 目標及び事業内容と計画区域等との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が期待できる。	○

